

平成7年度決算 一般会計歳出額

重点事業を推進 歳出

歳出とは、市民皆さんのために使われたお金のことをいいます。その決算額は、442億9千268万6千円となり、前年度に比べ4.1%減少しました。左の図2は、歳出を目的別に表しました。土木費が最も多く、道路整備事業などが主なものですが、次に衛生費ですが、第二環境センターや余熱利用施設(仮称)建設事業費、余熱利用施設(仮称)建設事業費および消防本

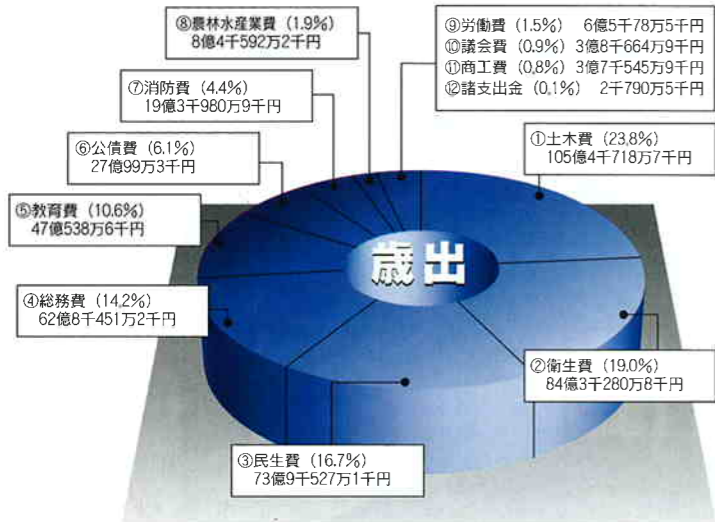


図2 歳出総額442億9千268万6千円 (100%)

図3 歳出の性質別内訳 (100%)



部庁舎建替事業などの普通建設事業費です。次に職員の給与などの人件費、物品購入や業務委託などの物件費となっています。右下の図4は、市税と目的別歳出を市民の皆さん一人あたりに換算したものです。市税は、14万9千73円で前年度比6.0%増、歳出は、27万2千852円で前年度比3.8%の減です。なお、歳入歳出の差額は平成8年度へ繰り越しました。

問い合わせ/財政課へ内線339

442億9千268万6千円のうちのわけ

市税など、あらゆる財源を駆使 歳入

平成7年度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会にて認定されました。財政の中心となる一般会計における歳入決算額が460億8千24万円、歳出決算額が442億9千268万6千円となりました。私たちの税金が、住みよいまちづくりを進めるうえでどのように使われているかをお知らせします。

歳入とは、市の財源として入ってくるお金のことをいいます。その決算額は、460億8千24万円となり、前年度に比べ3.0%減少しました。右の図1は、その内訳を表したものです。市税は、歳入の約半分を占めており、長引く経済不況が回復基調に転じたことを反映したこと、前年度比5.8%増加しました。次に多いのが市債ですが、これは国などから借りているお金のことで、各種の建設事業などの財源となっています。

第二環境センター建設事業などの財源として国などから借り入れるとともに、減税に対する補てん財源としても借り入れしましたが、前年度比は9.7%減少しました。総体的に借り入れ金が多くなっているという状況は、それだけ厳しい財政状況に置かれているということ、次に繰入金、国庫支出金、県支出金、繰越金、地方譲与税、諸収入などとなっています。

平成7年度 決算状況報告

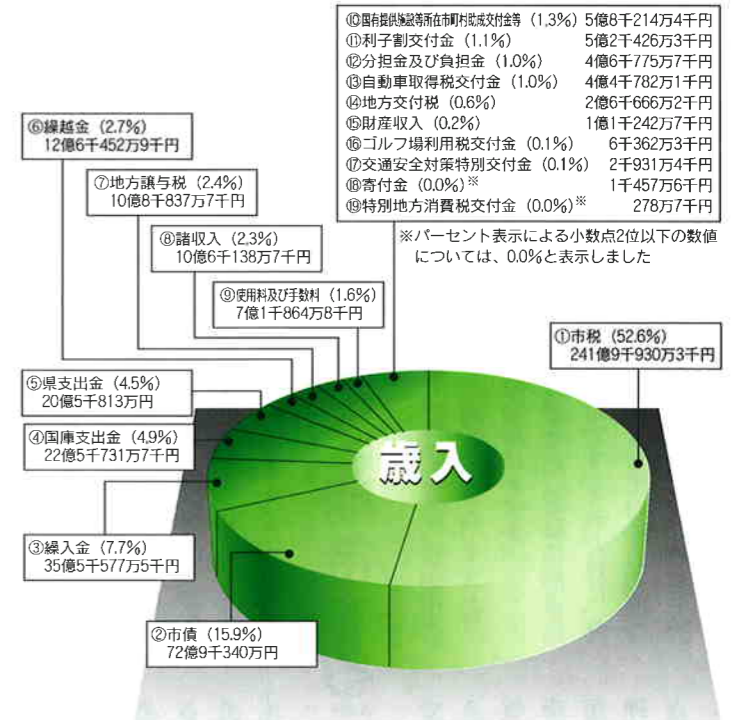


図1 歳入総額460億824万円 (100%)

歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出
一般会計	46,008,240	44,292,686
特別会計		
国民健康保健	6,352,492	5,979,601
下水道	7,381,201	7,257,184
文化産業	2,629	1,785
老人保健	6,616,279	6,399,888
上広瀬土地区画整理	1,739,034	1,597,693
狹山市駅東口土地区画整理	164,041	160,341
合計	68,263,916	65,689,178

図4

市民一人あたりに使われたお金		市民一人あたりが負担した市税	
歳入総額(一人当たり)	27万2千852円	市税総額(一人当たり)	14万9千73円
その他	1万4千87円	軽自動車税	533円
消防費	1万1千949円	特別土地保有税	1千5円
公債費	1万6千639円	市たばこ税	4千348円
教育費	2万8千986円	都市計画税	6千992円
3方費	3万8千714円	固定資産税	5万8千499円
総務費	4万5千556円	市民税	7万7千690円
民生費	5万1千948円		
衛生費	5万1千948円		
土木費	6万4千973円		

※人口16万2千332人(平成8年4月1日現在)

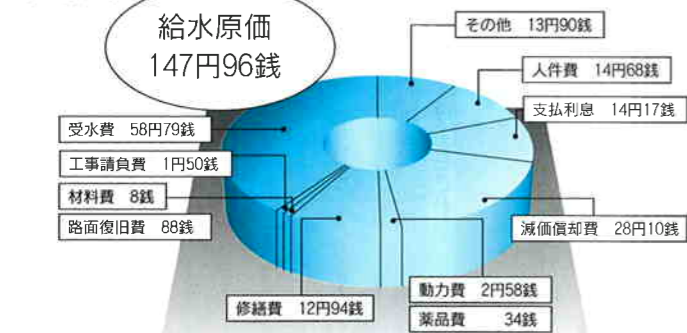
水道事業は、独立採算制に基づき皆さんの水道料金などで経営されています。

収益的収入および支出	収入	3,061,282 千円
	支出	2,978,402
資本的収入および支出	収入	723,014
	支出	1,512,319

※資本的収入が資本的支出に不足する額を、留保資金や積立金などで補てんしました。

平成7年度決算額から水を作る費用と料金を表すと次のようになります。	供給単価(販売価格)	135円27銭
	給水原価(製造原価)	147円96銭

給水原価の内訳 (1㎡当たり)



◆お問い合わせ/水道総務課 内線282

平成7年度水道事業決算状況

平成7年度水道事業会計決算が認定されましたのでお知らせします。

- ▽消防本部庁舎建替事業 2億9千834万9千900円
- ▽消防機械等整備事業 3千515万2千円
- ▽生涯健康・生涯福祉の推進 1千950万6千円
- ▽健康づくりの推進 1千950万6千円
- ▽保健予防の充実 3億3千654万2千円
- ▽老人保健福祉施設整備事業 4千107万2千円
- ▽在宅福祉の充実 5億8千919万7千円
- ▽障害福祉施設整備事業 1億3千201万2千円
- ▽生涯学習の促進 702万3千円
- ▽校舎温度保持改修事業 1億4千590万円
- ▽西中学校体育棟建設事業 3千193万9千円
- ▽産業の振興
 - ▽ほ場整備事業 9千204万6千600円
 - ▽農道等整備事業 1億559万2千円
 - ▽第2期美しいむらづくり事業 4千645万3千円
 - ▽茶生産基盤整備事業 669万8千円
 - ▽商店街環境整備事業 1千300万0千円
- ▽民生生活の充実
 - ▽コミュニティ施設特別整備事業 3千746万2千円
 - ▽女性のための総合計画の策定 214万2千円
 - ▽入管駅西口改札口開設事業 1億8千982万2千円

- ▽基本構想の「緑と健康で豊かな文化都市」実現をめざす6本の柱に沿った各種事業の決算額は次のとおりです。
- 都市基盤の整備
 - ▽狹山市駅西口周辺整備事業 97万5千円
 - ▽狹山市駅東口土地区画整理事業 4千522万2千円
 - ▽上広瀬土地区画整理事業 14億2千151万3千円
 - ▽組合施行土地区画整理事業 1億3千500万0千円
 - ▽都市計画道路整備事業(柏原新狭山線など) 4億8千853万0千円
 - ▽一般市道整備事業 18億5千745万0千円
 - ▽汚水対策事業(新河原処理分区分、市街化調整区域) 24億7千270万6千600円
 - ▽雨水対策事業(西河原雨水幹線、石無坂洪水対策など) 12億9千839万7千700円
 - ▽水洗化の促進 1億3千840万1千100円
 - ▽第5期水道施設拡張事業 4億2千234万8千800円
 - ▽水道老朽管更新事業 1億2千270万4千400円
 - ▽生活環境の整備
 - ▽入管多目的広場(調節池)整備事業 4億9千28万6千600円
 - ▽河川敷公園整備事業 3千129万1千100円
 - ▽緑地保全推進事業 8億8千292万8千800円
 - ▽第一環境センター建設事業 45億8千496万8千800円
 - ▽余熱利用施設(仮称)建設事業 5億8千606万6千000円

重点事業の主な決算